

掛け軸 の表具

職人による 技の実演！

10月31日 土



伝統の技を間近でご覧ください

表具とは、紙や布などを用いて、掛け軸・巻物・屏風・襖などを仕立てることで、その職人は経師あるいは表具師と呼ばれています。現在、表具師は住宅の襖や障子といった日常生活の調度品のほか、文化財の修復にも携わっています。

埼玉県表具内装組合連合会から講師を迎えて、裏打ちや仕上げ等の掛け軸の表具の技術を実演公開します。



日時 令和8年10月31日(土)
14:00～15:30 (開場13:30)

会場 埼玉県立歴史と民俗の博物館 吾妻工業 講堂

協力 埼玉県表具内装組合連合会

講師 江原 望 氏(江原小林堂)、清水 徳夫 氏(荒木表具店)

定員 優先観覧席 80名(申込先着順)
※ 会場前方の席を優先的にご利用いただけます。
※ 優先観覧席のほか、事前申し込み不要の席もございます。

費用 無料

【申込方法】 電話または電子申請(先着順)

【申込期間】 9月29日(火) 9時00分～

- ▶ 電子申請 当館ホームページよりアクセス可能。
- ▶ 電話 048-645-8171



▲ 申込みはこちら

※1件(1申請)につき、1名までお申込みできます。

お優先
申込
観覧
席

関連事業



特別展
「文人画家の寄り道一文晁、華山と同好の士」

期間 令和8年10月10日(土)～11月23日(月・祝)

会場 埼玉県立歴史と民俗の博物館 特別展示室

※観覧には入館料が必要です。



一級表装技能士
江原 望 氏